

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	駅(西口)周辺魅力アップ事業		
事業担当	まちづくり事業部 まちづくり事業課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	②〈まちの顔〉 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'02	2 人々が憩えるゆとりとうるおいのある都市空間を創造する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民・来街者	事業期間	～ 平成24年度
委託、協働	【委託: <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】【協働: _____】		
	目的・目標		事業の概要
	西口跨線橋のバリアフリー化及び駅前民間複合ビルの建設促進により、まちのにぎわいを創出し、魅力アップが図られています。		駅西口周辺の魅力アップのため、西口跨線橋のバリアフリー（エレベータ設置）化などを推進します。

2. 事業の検証

活動指標①	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	西口跨線橋エレベータ設置進捗率				単位	%
	説明・算定式	平成24年度を100%としたエレベーター設置進捗率。H22まで:76%、H23:設置に向けた協議4%、H24:エレベーター設置20%(平成24年度まで)					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	63	76	80	100		
	実績	20	70	76			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成23年度の主な取組と成果							
平塚駅西口改札外エレベーターの設置に係る設計を行いました。							
平成23年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	西口跨線橋のバリアフリー化については、急な段階の対策として、エレベーターの設置要望が寄せられており、早期の設置が必要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	西口跨線橋のバリアフリー化によって、西口跨線橋の自由通路や駅の利用について利便性が向上することから、有効性は高いと考えます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	西口跨線橋のバリアフリー化は「平塚市交通バリアフリー基本構想(H17.11)」に位置づけられており、妥当性は高いと考えております。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	改札内のエレベーターについては、国やJRと協調により設置していきます。また、跨線橋北側エレベーターについては、西地の駐輪場と一体的な整備を進めます。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		跨線橋南エレベーターの施行協定締結にあたっては、平成24年6月議会にて議決を得る必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		事前協議	設計委託、改札内設計 補助	改札内エレベータ設置 補助、南北エレベータ設 計	南北エレベーター工事、 中地基本方針検討
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	165,000
	その他 特財	0	11,451	14,093	0
	一般財源	0	0	0	56,000
事業費 (A)		0	11,451	14,093	221,000
執行率 (%)		—	13.96	5.59	
内訳	職員 (人)	0.95	0.95	1.00	1.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		7,939	7,847	8,104	8,015
フルコスト (A+B)		7,939	19,298	22,197	229,015

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	西口中地の土地利用基本方針の策定を行います。
課長コメント	西口地区は、本市の課題である跨線橋のバリアフリー化を進め、また、中地に民間複合ビルを誘導して賑わいの創出と魅力アップを図っていきます。進捗状況としては若干遅れているが、今後の設置工事に向けて、引き続き効率的な推進を図るようになります。